令和８年１１月掲載

「医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能」
第１６回　『介護老人保健施設』

道南地区老人保健施設事務長連絡会　役員一同



介護老人保健施設（老健）とは
～医療・介護・リハビリで「自分らしい暮らし」を支える施設です～

「退院後すぐに自宅へ帰るのは不安…」
「リハビリを続けながら自宅復帰を目指したい」
そんな方を支えるのが『介護老人保健施設（老健）』です。

老健は介護保険施設の一つで，病状が安定した方を対象に，医療・介護・リハビリテーションを一体的に提供し，住み慣れた地域や自宅での生活へ戻れるよう支援する施設です。
「病院」と「自宅」の橋渡し役として，地域包括ケアシステムを支える重要な役割を担っています。

① 老健の概要

老健は，医師の医学的管理のもと，看護や介護，リハビリテーションを提供する施設です。
ご利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたケアを行い，「できること」を増やし，自立した生活を支援します。

② 主なサービス内容

老健では，次のようなサービスを提供しています。

- 入所サービス
- 短期入所療養介護（ショートステイ）
- 通所リハビリテーション（デイケア）
- 訪問リハビリテーション

- 医師による健康管理
- 看護・介護サービス
- リハビリテーション
- 栄養管理・口腔ケア
- 在宅復帰・在宅療養支援

日常生活そのものをリハビリと考え，食事・入浴・排泄・歩行などを通して身体機能や生活能力の維持・向上を図ります。

③ 利用できる方

利用対象は，原則として要介護 1～5 の認定を受けている方です。

例えば，次のような方が利用されています。

- 退院後にもう少しリハビリを続けたい
- 自宅生活に不安がある
- 家族の介護負担を軽減したい
- 在宅復帰へ向けた準備をしたい

④ 老健の５つの類型

老健は在宅復帰支援の実績などに応じて５つに分類されています。

類型	特徴
超強化型	在宅復帰率・リハビリ・地域連携が特に充実
在宅強化型	在宅復帰支援を積極的に実施
加算型	一定水準以上の支援体制を整備
基本型	標準的な老健サービスを提供
その他型	基本的なサービスを提供

類型が上位であるほど，在宅復帰や在宅生活の継続を支援する機能が充実しています。

⑤ 配置されている専門職

老健では，多職種がチームとなって利用者を支えます。

- 医師
- 看護職員
- 介護職員
- 支援相談員
- 介護支援専門員（ケアマネジャー）
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 管理栄養士
- 薬剤師（施設による）
- 歯科衛生士（施設による）
- 事務職員

医師をはじめ，国が定める人員配置基準を満たした体制で，安全・安心なサービスを提供しています。

⑥ 対応可能な病気・医療処置

主な病気

- 脳卒中後遺症
- 認知症
- パーキンソン病
- 骨折後
- 心不全
- 糖尿病
- 呼吸器疾患　など

対応可能な医療処置（施設により異なります）

- 胃ろう
- 経鼻経管栄養
- インスリン注射

- 喀痰吸引
- 在宅酸素療法
- 尿道カテーテル
- ストーマ
- 褥瘡（床ずれ）の処置　など

※病状や医療処置の内容によって受け入れ可能か判断しますので，まずは施設へご相談ください。

⑦ 老健ならではの強み

　老健の最大の特徴は，医療・介護・リハビリを一体的に提供し，「その人らしい生活」を支えることです。

医師が常勤し，看護職員や介護職員，リハビリ専門職，支援相談員，管理栄養士など多職種が連携して，一人ひとりの心身の状態や生活環境に合わせた支援を行います。退所後も，ケアマネジャーや地域包括支援センター，医療機関，訪問看護などと連携し，自宅で安心して生活を続けられるようサポートしています。

　また，老健は「自宅へ戻るための施設」という役割だけではありません。近年では，病気や加齢により回復が難しい方が増える中で，ご本人やご家族の希望を尊重し，住み慣れた施設で最期まで安心して過ごせるよう支援する「看取り」にも積極的に取り組む施設が増えています。

看取りでは，延命治療だけを目的とするのではなく，苦痛の緩和や心身のケアを行いながら，その人らしい時間を大切にします。医師・看護職員・介護職員を中心に，多職種がご本人とご家族を支え，安心して最期の時間を過ごせるよう寄り添います。

　このように老健は，「在宅復帰を支える施設」であると同時に，「人生の最終段階まで，その人らしい暮らしを支える施設」として，地域包括ケアシステムの中で重要な役割を担っています。

　老健の利用を検討している，またはもっと老健のことを詳しく知りたいという方は，お近くの介護老人保健施設の担当者までお気軽にご相談ください。

比べてわかる！

老健・特養・介護医療院の違い



目的や特徴を知って、最適な施設選びの参考にしましょう

比較項目	介護老人保健施設（老健） 在宅復帰・在宅療養を目指す施設	特別養護老人ホーム（特養） 長期的な生活を支える施設	介護医療院 長期療養と生活支援を行う施設
主な目的・役割	在宅復帰を目指し、リハビリや医療・介護を一体的に提供します。  できることを増やして自宅へ戻るサポート！ 希望される方の看取りにも対応しています。	日常生活の支援を受けながら、その人らしい生活を長く続けられるよう支援します。  住み慣れた環境で安心して暮らせます！	医療的ケアや介護が必要な方に、長期的な療養と生活を支えます。  医療と介護を一体的に提供！
主な対象者（入所の目安）	要介護1～5の方で、病状が安定しリハビリや在宅復帰が見込める方 	原則 要介護3以上の方で、常時介護が必要で在宅での生活が困難な方 	要介護1～5の方で、慢性疾患や医療的ケアが必要で、長期療養が必要な方 
入所期間の目安	状態に応じて利用（3か月～1年程度） 在宅復帰が目標 短期～中期 → 在宅へ	長期（終身利用が基本） 長期的な生活の場	長期（終身利用が基本） 長期療養・生活の場
医療体制	◎ 医師常勤、看護師も常駐	△ 医師は配置（常勤の義務なし）	◎ 医師常勤、看護師も常駐
リハビリ	◎ リハビリ専門職が多く配置	△ 必要に応じて実施	○ リハビリを実施
医療処置への対応	○ 幅広く対応 （胃ろう・吸引・在宅酸素など）	△ 限定的 （医療的ニーズが高い方は難しい）	◎ 幅広く対応 （たん吸引・インスリン・人工肛門など）
在宅復帰支援	◎ 積極的に実施 （退所後の在宅生活も支援）	△ 基本的には行わない	△ 基本的には行わない
生活の場としての機能	○ リハビリ中心の生活	◎ 生活の場として重視）	○ 療養と生活の両立
看取り対応	○ 希望される方の看取りに対応 ※施設の体制により異なります	△～○ 施設の方針や体制により異なります。 ※看取り介護加算の取得施設も増えています	◎ 看取りに対応している施設が多い ※医師・看護師による医療的支援あり

それぞれの特徴をひとことで！

老健

- ✓ リハビリに力を入れ、在宅復帰を目指す施設
- ✓ 医療・介護・リハビリが一体
- ✓ 在宅生活への橋渡し役
- ✓ 希望される方の看取りにも対応



特養

- ✓ 長期的な生活を支える施設
- ✓ 介護サービスを中心に提供
- ✓ 安心して暮らせる環境づくり



介護医療院

- ✓ 医療的ケアが必要な方を支える施設
- ✓ 医療と介護を一体的に提供
- ✓ 長期療養と生活を両立
- ✓ 看取りに対応している施設が多い



どの施設が向いているの？

「自宅に戻りたい」
「リハビリを頑張りたい」方に

老健がおすすめ！

集中的なリハビリや支援を受けて、自宅での生活を目指します。



「自宅での生活が難しい」
「長く安心して暮らしたい」方に

特養がおすすめ！

日常生活の介護を受けながら、その人らしい暮らしを続けられます。



「医療的ケアが多い」
「長期療養が必要」な方に

介護医療院がおすすめ！

医療的なサポートを受けながら、安心して長く生活できます。



まずはご相談を！

本人の状態やご家族の希望によって、最適な施設は異なります。
ケアマネジャーや地域包括支援センターにお気軽にご相談ください。



ご相談・お問い合わせ

介護についてのご相談は、お住まいの地域包括支援センターやケアマネジャー、各施設の相談窓口までお気軽にご連絡ください。

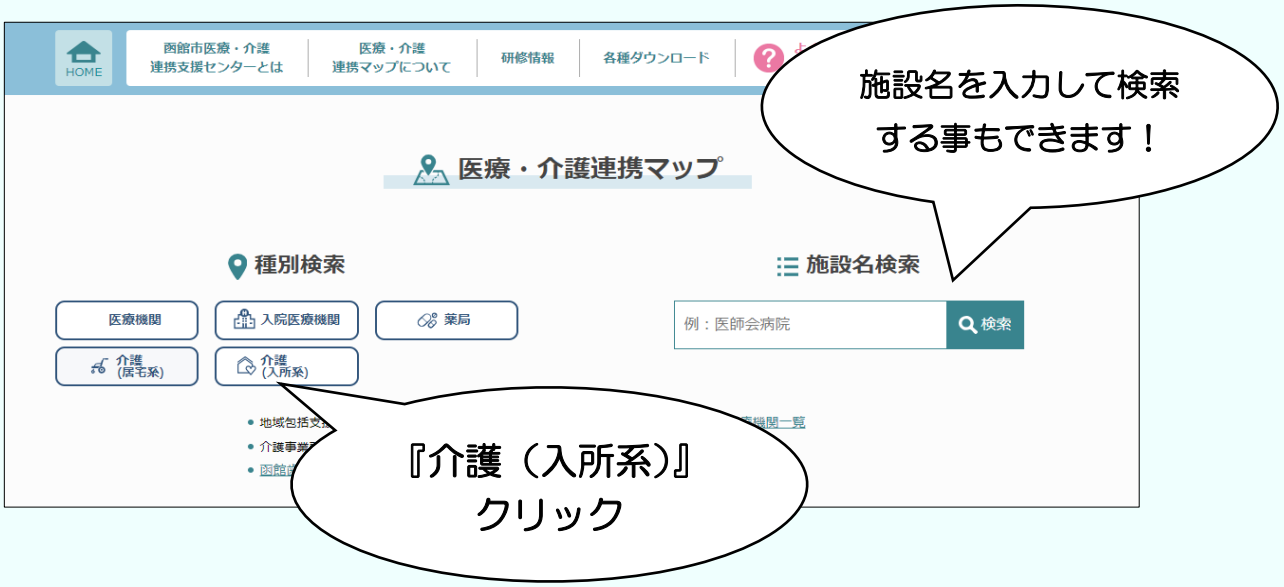


大切なのは「その人らしく、安心して暮らせること」
それぞれの施設の役割を知って、よりよい選択をしましょう。



＜函館市医療・介護連携支援センターからのお知らせ＞

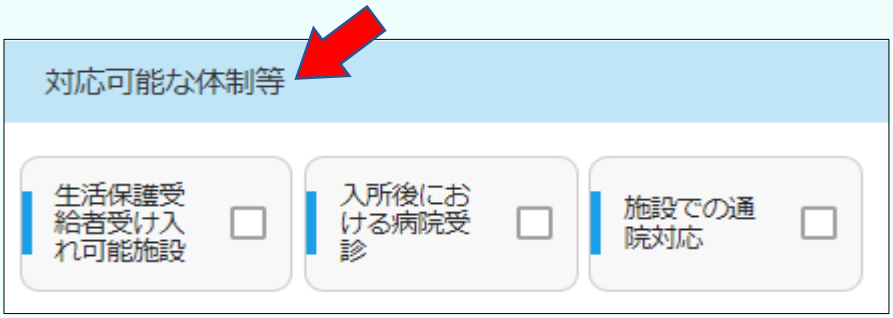
当センターの医療・介護連携マップに掲載されている『介護老人保健施設』に関して，下記の手順で検索が可能です。
「受入対応可能な病名・処置内容」などの項目を選択し検索すると，該当する事業所（函館市・北斗市・七飯町）をみることができます。
皆さまぜひ，ご活用ください。

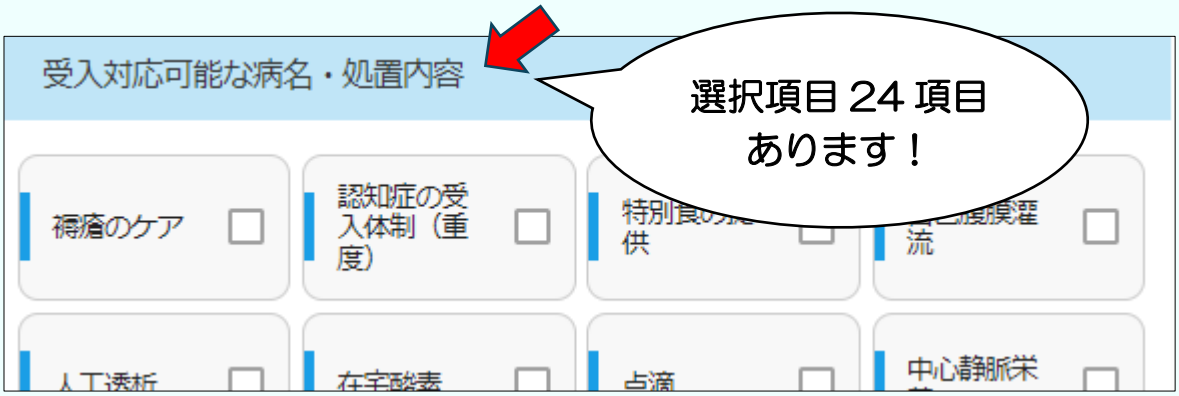




『対応可能な居室タイプ』『対応可能な体制等』『受入対応可能な病名・処置内容』から，それぞれ検索したい項目を選択







検索したい項目を選択後，『一覧を表示』をクリックすると，函館市・北斗市・七飯町の検索項目に該当する事業所をみる事ができます！



医療・介護連携マップの使い方について，紹介動画があります。

ここをクリック⇒「医療・介護連携マップ」ご紹介動画